

スマホ・ネット安全教室

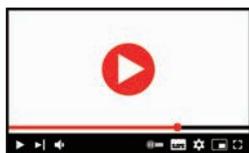
〔スタンダード編〕

先生向け補助教材

CONTENTS

- 03 ナレーション教材について
- 04 ナレーション教材の構成と手順
- 05 各ワークの概要
- 06 情報技術の上手な活用とリスクを考える
- 07 リスクを考えるワーク① 【コミュニケーション編】
- 08 リスクを考えるワーク② 【使いすぎ編】
- 09 リスクを考えるワーク③ 【SNSの発信編】
- 10 リスクを考えるワーク④ 【出会い編】
- 11 リスクを考えるワーク⑤ 【インターネット情報のあやしさ編】

本教材の内容



ナレーション教材
(YouTube動画)



先生向け補助教材
(本教材)



ワークシート

アンケート回答のお願い



ナレーション教材と先生向け補助教材を
ご使用いただいた感想をぜひアンケートに
ご記入ください。

ナレーション教材について

本教材の3つのポイント

スマホ・ネット安全教室では2023年に情報モラル教材の大型改修を行い、従来の知識伝達型の教材から情報活用を前提にしたリスクマネジメントを意識したアクティブラーニング型の教材にアップデートしました。新しい教材のポイントは以下の3点になります。

◆ポイント① 「個々のトラブル対策」から「汎用的なリスクマネジメント能力」の育成へ

近年のネットやSNSのトラブルは多様化・複雑化しているため、これまでのように個々のトラブルにすべて対応することは難しいと考えています。そこで、さまざまなトラブルに共通して対応できる考え方としてスマホやネットに関する「リスクマネジメント能力」の育成をめざした内容となっています。

◆ポイント② 「リスクがあるか／ないか」から「リスクを見積もる」授業へ

各ワークでは、リスクマネジメント・プロセスの①リスクの発見（特定）、②リスクの見積もり（分析・評価）、③リスクへの対応（クライシス対応を含む）の中から「リスクの見積もり」を取り入れています。どの程度危険なのかというリスクを見積もるワークを行うことで、自らのリスクを予想する力を育てる内容となっています。また、児童生徒が個々で考えるリスクを他者と共有することで、相互学習につなげています。

① リスクの発見
（特定）

② リスクの見積もり
（分析・評価）

③ リスクへの対応
（クライシス対応を含む）

リスクマネジメント・プロセス

◆ポイント③ 日常の行動につながる「スキルの習得」

使いすぎ編とコミュニケーション編では、リスクに対応するための具体的な行動につなげるためのスキルワークを取り入れています。スキルを習得することで、リスクを回避する力を育てる内容になっています。

ナレーション教材の構成と手順

ナレーション教材の構成

ナレーション教材は、情報モラル教育を先生が実施する際にご活用いただける、スライドと音声が入った動画教材です。リスクについて考えるワークは5つのテーマがあり、ニーズに合わせて使用が可能です。テーマごとにチャプターがわかれているため、動画の構成をご確認いただき、使用したい内容をご検討ください。

チャプター	タイトル	時間
1	はじめに	0:00～
2	わたしたちの生活と情報技術	1:21～
3	情報技術の上手な活用とリスクを考える	4:01～
4	リスクを考えるワーク① 【コミュニケーション編】	8:06～
5	リスクを考えるワーク② 【使いすぎ編】	13:31～
6	リスクを考えるワーク③ 【SNSの発信編】	20:14～
7	リスクを考えるワーク④ 【出会い編】	27:02～
8	リスクを考えるワーク⑤ 【インターネット情報のあやしさ編】	33:00～
9	まとめ	38:39～

ナレーション教材を使用した教室実施の手順

準備

- ① チャプター「1.はじめに」、「3.情報技術の上手な活用とリスクを考える」、「9.まとめ」は基本的な内容として取り入れてください。
- ② ワーク①～⑤のうち、取り扱いたい内容を教室の実施時間に合わせて選択してください。
- ③ 選択した内容に合ったワークシートを準備してください。

教室実施

- ④ ナレーション教材を、選択した内容のチャプターまでスキップして再生し、進行してください。
- ⑤ ナレーション教材でワークの指示があった際は、一時停止してワークシートを記入させたあと、記入内容についてまわりの人と話し合いをさせます。話し合いが進んでいないグループには話し合いのポイントを伝えるなど、フォローをして進行してください。

実施イメージ

【時間】 45分 【ワークの内容】 ①使いすぎ編と④出会い編
*時間の都合で「2.わたしたちの生活と情報技術」は省略

実施内容	ナレーション教材
はじめに	チャプター1 (0:00～)
情報技術の上手な活用とリスクを考える	チャプター3 (4:01～)
リスクを考えるワーク1つめ	チャプター4 (8:06～) 使いすぎ編
リスクを考えるワーク2つめ	チャプター7 (27:02～) 出会い編
まとめ	チャプター9 (38:39～)
児童の感想発表	

各ワークの概要

ワークの種類一覧

- ・コミュニケーション編
- ・使いすぎ編
- ・SNSの発信編
- ・出会い編
- ・インターネット情報のあやしさ編

各ワークの内容

①導入ワーク

導入では、ネットやSNSを使っていない人でも、各テーマのトラブルを身近に感じてもらうためのワークを行います。個人でワークシートに記入させたあと（1分）、2-3人のグループを作って話し合い（2分）をしてください。なお、次の「②リスクの見積もりワーク」の類似内容となっています。

②リスクの見積もりワーク

本ワークは、4つの場面から、リスクを小中大に分類することで、リスクの見積もりを考えます。個人でワークシートに記入させたあと（1分）、2-3人のグループを作って話し合い（2分）をしてください。ここでの留意点は、1枠につき必ず数字を1つは入れ、空欄を作らないことです。そうすることで、リスクの見積もりが小中大に分類でき、そのように判断した理由を共有しやすくなります。

③見積もるときのポイントの解説

リスク小中大の分類に「正解」はありません。ただ、正解はありませんが、それぞれのテーマに関するリスクを見積もる際に判断するポイントをナレーション教材でお伝えします。

授業の設定

〔実施対象〕 小学5年生～中学1年生

〔実施時間〕 45～50分

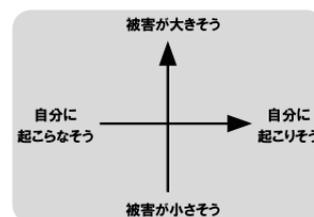
準備するもの

- ・ナレーション教材を再生可能なインターネット環境
- ・パソコン、プロジェクタ、スクリーン
- ・ワークシート 1人4ページ（【冒頭・まとめ】、ワークの1つめ、ワークの2つめ）
- ・先生向け補助教材

■ ねらい

- ① AIやロボットなどの発達で、自分たちの暮らしがどのように変化するかを考える。また、それが社会を豊かにするだけでなく、新たなトラブルが発生しうることを理解する。
- ② リスクマネジメントの基本的な考え方についてリスクマップ(※)ワークを通して学習します。さまざまなトラブルに対して、自身が考えるリスクを頻度と深刻度でマップ上に可視化し、その理由を他者と共有することで、優先的に取り組むべきリスクの自覚を促す。

※リスクマップとはリスクを大小に比較・理解できるように視覚化するマップのことです(右図)



リスクマップ

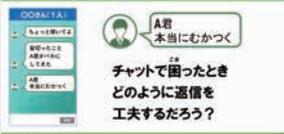
■ 指導のポイント

ナレーション教材	指導のポイント
<p>6分6秒～ (一時停止・ワークの実施)</p> <p>リスクとは？</p> <p>リスク(危険度) = 起こりやすさ × 被害の大きさ</p> <p>「悪口はどのくらい出るの？」</p> <p>「悪口はどのくらい出るの？」</p> <p>リスクを考えるための3つの段階</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 リスクの発見 2 リスクの見直し 3 リスクへの対応 <p>どのくらいのリスクがあるかを考えることが重要</p>	<p>①リスクマネジメントの基本的な考え方</p> <p>リスクの定義やリスクの考え方を事前に子どもたちに伝えます。ただし、知識を伝えるだけでは理解しづらいため、直後にリスクマップを使ったワークにより体験的に理解を促します。</p>
<p>7分12秒～ (一時停止・ワークの実施)</p> <p>自分に起こりそうなことはどれだろう</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 長時間利用 ② SNSやLINEの画像保存 ③ 悪口を書かれる ④ 歩きスマホ <p>被害が大きそうなのはどれだろう</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 長時間利用 ② SNSやLINEの画像保存 ③ 悪口を書かれる ④ 歩きスマホ 	<p>②リスクの考え方を理解するためのワーク (ワークシート記入:1分 話し合い:2分)</p> <p>よく取り上げられる4つのトラブルについて、頻度(起こりやすさ)と深刻度(被害の大きさ)でマップ上に可視化して、優先度を明確にしてもらいます。発達段階を考慮すると、リスクマップの2軸を同時に考え始めることが難しいため、頻度と深刻度をそれぞれに分けてワークを行います。まず、頻度について横軸で自分への起こりやすさで並べてもらいます。</p> <p>〔ワンポイントアドバイス!〕</p> <p>このときに、なるべくスライドのように一列で並べた方が、子どもたちにとって考えやすく、その後の議論が活性化しやすいです。その後に深刻度について縦軸を意識して再度記入します。まず、個人で記入し、その後にグループで共有してください。グループワークの際には、リスクマップを比較するとともに、それぞれの並び方の理由を共有するようにしてください。</p>

■ ねらい

- ① コミュニケーショントラブルにおける「リスクの見積もり」の重要性を理解する。また、グループワークを通して自分と他者のリスクの見積もりの「違い」から、コミュニケーショントラブルにおけるリスクの理解を深める。
- ② 上記を踏まえ、スキルワークを通してリスクを回避しながら、自分の考えや気持ちを上手に伝える方法を身につける。

■ 指導のポイント

ナレーション教材	指導のポイント
<p>8分53秒～ (一時停止・ワークの実施)</p> <p>リスクの見積もり①自分の起こりやすさを考えよう</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 クラスチャットでのイシリ 2 個人チャットでのグチ 3 グループチャットでの狼めの注意 4 グループチャットでのうわさ話 	<p>①導入ワーク (ワークシート記入：30秒 話し合い：2分)</p> <p>導入では、アイスブレイクとして日常のチャット場面を題材に、自分にとっての「起こりやすさ」を考えるワークを行い、身近なテーマとして感じてもらいます。</p>
<p>10分00秒～ (一時停止・ワークの実施)</p> <p>リスクの見積もり②リスクを考えよう</p>  <p>リスクの見積もり②リスクを考えよう</p>	<p>②リスクの見積もりワーク (ワークシート記入：1分 話し合い：2分)</p> <p>本ワークは、4つのテキストコミュニケーションの場面から、リスクを小中大(何も問題ない - とてもイヤな気持ち)に分類することで、リスクの見積もりを考えます。</p> <p>〔ワンポイントアドバイス!〕</p> <p>リスク小中大の分類に「正解」はありません。本ワークは正解を考えることではなく、各児童が自身のリスクの見積もりを考え、他者との違いからリスクの捉え方を深め、「考え続けること」の重要性を理解してもらうことをねらいとしています。ただし、正解はありませんが、リスクを見積もる際の判断するポイントはワーク後にナレーション教材でお伝えします。</p>
<p>12分40秒～ (一時停止・ワークの実施)</p> <p>こんなときどうする？</p> 	<p>③スキルワーク (ワークシート記入：1分 話し合い：2分)</p> <p>本ワークは、コミュニケーショントラブル場面にあった際に備え、実際にどのように対応するかを具体的に考えます。今回はチャットで困った時の返信する際の3つのスキルをナレーション教材でお伝えします。</p>

■ ねらい

- ① ネットの使いすぎにおける「リスクの見積もり」の重要性を理解する。また、グループワークを通して自分と他者のリスクの見積もりの「違い」から、使いすぎにおけるリスクの理解を深める。
- ② 上記を踏まえ、スキルワークを通してリスクと上手につき合うための上手な活用スキルを身につける。

■ 指導のポイント

ナレーション教材	指導のポイント
<p>14分15秒～ (一時停止・ワークの実施)</p> <p>リスクの見積もり①自分の起こりやすさを考えよう</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 好きな人のSNS 2 お気に入りの動画 3 おもしろショート動画 4 ネットゲーム 	<p>①導入ワーク (ワークシート記入：30秒 話し合い：2分)</p> <p>導入では、アイスブレイクとして日常のネット利用場面を題材に、自分にとっての「起こりやすさ」を考えるワークを行い、身近なテーマとして感じてもらいます。</p>
<p>15分21秒～ (一時停止・ワークの実施)</p> <p>リスクの見積もり②リスクを考えよう</p>  <p>リスクの見積もり②リスクを考えよう</p>	<p>②リスクの見積もりワーク (ワークシート記入：1分 話し合い：2分)</p> <p>本ワークは、使いすぎてしまう4つの場面から、リスクを小中大(やめられる - やめられない)に分類することで、リスクの見積もりを考えます。</p> <p>〔ワンポイントアドバイス！〕</p> <p>リスク小中大の分類に「正解」はありません。本ワークは正解を考えることではなく、各児童が自身のリスクの見積もりを考え、他者との違いからリスクの捉え方を深め、「考え続けること」の重要性を理解してもらうことをねらいとしています。ただし、正解はありませんが、リスクを見積もる際の判断するポイントはワーク後にナレーション教材でお伝えします。</p>
<p>18分36秒～ (一時停止・ワークの実施)</p> <p>こんなときどうする？</p> 	<p>③スキルワーク (ワークシート記入：1分 話し合い：2分)</p> <p>本ワークは、使いすぎてしまう場面にあった際に備え、実際にどのように対応するかを具体的に考えます。今回はネットやSNSを上手にやめるための3つのスキルをナレーション教材でお伝えします。</p>

■ ねらい

- ① SNSの発信における「リスクの見積もり」の重要性を理解する。また、自分と他者のリスクの見積もりの「違い」から、SNSの発信におけるリスクの理解を深める。
- ② SNSの発信のリスクを回避するために、注意すべきポイントを理解する。

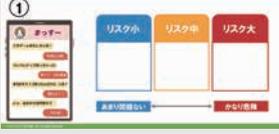
■ 指導のポイント

ナレーション教材	指導のポイント
<p>21分00秒～ (一時停止・ワークの実施)</p> <p>リスクの見積もり①自分の起こりやすさを考えよう</p> <p>SNSで発信するなら、どのような内容を発信する？</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 祭りなどのイベントの様子 2 仲良しメンバーとの写真 3 ダンスなど趣味の写真 4 おもしろ動画や写真 	<p>①導入ワーク (ワークシート記入：30秒 話し合い：2分)</p> <p>導入では、アイスブレイクとして自分がSNSで「発信しそうな内容」を考えるワークを行い、身近なテーマとして感じてもらいます。</p>
<p>22分29秒～ (一時停止・ワークの実施)</p> <p>リスクの見積もり②リスクを考えよう</p> <p>① ② ③ ④</p>  <p>リスクの見積もり②リスクを考えよう</p> <p>①</p> 	<p>②リスクの見積もりワーク (ワーク記入シート：1分 話し合い：2分)</p> <p>本ワークは、4つのSNSの発信する内容について「一緒に写っている友達がイヤな気持ちになるか」というリスクを小中大（何も問題ない-とてもイヤな気持ち）に分類してもらいます。</p> <p>〔ワンポイントアドバイス！〕</p> <p>リスク小中大の分類に「正解」はありません。本ワークは正解を考えることではなく、各児童が自身のリスクの見積もりを考え、他者との違いからリスクの捉え方を深め、「考え続けること」の重要性を理解してもらうことをねらいとしています。</p>
<p>23分23秒～ (ポイントの解説)</p> <p>SNSの3つの特徴</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 記録性 ……一度SNSにのせた情報を消すことは難しい ② 特定性 ……情報が組み合わさると個人が特定されやすい ③ 拡散性 ……SNSは自分の知らない人にも広がってしまう <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ポイント1 周りの人がどのように写っているか ●ポイント2 個人情報があるかどうか ●ポイント3 悪ふざけの写真は慎重に <p>どのくらいのリスクがあるかを見積もった上で上手にSNSを発信しよう</p>	<p>③リスクを見積もるときのポイントの解説</p> <p>最後に、それぞれの場面に関するリスクを見積もる際に判断するポイントをナレーション教材でお伝えします。特に、SNSの発信のリスクを見積もるときには、SNSの3つの特徴（記録性・特定性・拡散性）が影響していることを理解してもらいます。</p>

■ ねらい

- ① ネットの出会いによる「リスクの見積もり」の重要性を理解する。また、自分と他者のリスクの見積もりの「違い」から、出会いにおけるリスクの理解を深める。
- ② 身近な場面から出会いのトラブルを自分事として考えるとともに、そのリスクを回避するために、注意すべきポイントを理解する。

■ 指導のポイント

ナレーション教材	指導のポイント
<p>27分51秒～ (一時停止・ワークの実施)</p> <p>リスクの見積もり①自分の起こりやすさを考えよう</p> <p>ネットやSNS上で、仲良くなりそうな人はどんな人？</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 オンラインゲームの仲間 2 同じくらいの年齢の人 3 憧しい年上の人 4 好きな音楽グループが同じ人 	<p>①導入ワーク (ワークシート記入：30秒 話し合い：2分)</p> <p>導入では、アイスブレイクとして自分がネット上で「仲良くなりそうな人」を考えるワークを行い、身近なテーマとして感じてもらいます。</p>
<p>29分21秒～ (一時停止・ワークの実施)</p> <p>リスクの見積もり②リスクを考えよう</p>  <p>リスクの見積もり②リスクを考えよう</p> 	<p>②リスクの見積もりワーク (ワーク記入：1分 話し合い：2分)</p> <p>本ワークは、4つのオンラインチャットの内容から、「その内容がどのくらい危険か」というリスクを小中大（あまり問題ない - かなり危険）に分類してもらいます。</p> <p>〔ワンポイントアドバイス！〕</p> <p>リスク小中大の分類に「正解」はありません。本ワークは正解を考えることではなく、各児童が自身のリスクの見積もりを考え、他者との違いからリスクの捉え方を深め、「考え続けること」の重要性を理解してもらうことをねらいとしています。</p>
<p>30分10秒～ (ポイントの解説)</p> <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ポイント1 個人情報には注意する ●ポイント2 簡単に誘いにのらない ●ポイント3 会う前に大人に相談する <p>ネット上で連絡をとるときは、どのくらいのリスクがあるかを考えよう</p>	<p>③リスクを見積もるときのポイントの解説</p> <p>最後に、それぞれの場面に関するリスクを見積もる際に判断するポイント（個人情報・誘い・会う前に相談）をナレーション教材でお伝えします。また、ナレーション教材に加え、子どもたちが出会いのトラブルを自分事として考えるとともに、そのリスクを回避するためのポイントを日常から意識するよう先生からもお声かけをお願いします。</p>

■ ねらい

- ① ネット情報のあやしさにおける「リスクの見積もり」の重要性を理解する。また、自分と他者のリスクの見積もりの「違い」から、出会いにおけるリスクの理解を深める。
- ② ネット情報のあやしさのリスクを回避するために、注意すべきポイントを理解する。

■ 指導のポイント

ナレーション教材	指導のポイント
<p>3分50秒～ (一時停止・ワークの実施)</p> <p>リスクの見積もり①自分の起こりやすさを考えよう</p> <p>学習アプリを探するとき、どのような「広告」でアプリを選ぶ？</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「人気No.1」と書いてある 2 「大学の先生が関わっている」と書いてある 3 「よかった」と口コミに書いてある 4 「学力が上がった」と書いてある 	<p>①導入ワーク (ワークシート記入：30秒) 話し合い：2分</p> <p>導入では、アイスブレイクとして自分が学習アプリの広告のうち信用するのはどれかを考えるワークを行い、身近なテーマとして感じてもらいます。</p>
<p>3分00秒～ (一時停止・ワークの実施)</p> <p>リスクの見積もり②リスクを考えよう</p> <p>英単語アプリの広告を、どのくらい「あやしいと思う」？</p>  <p>リスクの見積もり②リスクを考えよう</p> 	<p>②リスクの見積もりワーク (ワークシート記入：1分 話し合い：2分)</p> <p>本ワークは、4つの学習アプリの広告内容から、「その内容がどのくらいあやしいか」というリスクを小中大（何も問題ない - あやしい）に分類してもらいます。</p> <p>〔ワンポイントアドバイス！〕</p> <p>リスク小中大の分類について、①～④の中では比較的④のリスクが少ないと考えられます。ただし、本ワークは正解を考えるだけでなく、各児童がその広告のリスクを見積もり、他者との違いからリスクの捉え方を深め、「考え続けること」の重要性を理解してもらうことをねらいとしています。</p>
<p>3分26秒～ (ポイントの解説)</p> <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ポイント1 <small>ポイント1</small> だれが関わっているかを確認する ● ポイント2 <small>ポイント2</small> いつ調査されたかを確認する ● ポイント3 <small>ポイント3</small> 結果だけでなく調査人数を確認する 	<p>③リスクを見積もるときのポイントの解説</p> <p>最後に、それぞれのテーマに関するリスクを見積もる際に判断するポイント（だれ・いつ・調査人数）を、ナレーション教材でお伝えします。本ワークでのメディアリテラシーは広告を例にしていますが、情報を収集する際には、さまざまなネットやSNSの「情報のあやしさ」を見極めて、上手に情報を活用するよう先生からもお声かけをお願いします。</p>